

常任委員会所管事務調査

総務常任委員会

＊市有地未利用地の調査

調査日
7/27

売却可能資産のうち未利用地8箇所、現地調査を行いました。市有地未利用地は市の活力を高めるために大きな価値を持っており、短期、長期を含めて、踏み込んだ検討が必要であり、市全体はもとより、その用地がある地区の活性化にも関わることから、所在地区民から活用案を聞くことも必要です。貴重な財産であるということを再認識するとともに、有効活用に真剣に取り組んでいかなければならないということを実感しました。



旧田原保育園跡地

教育厚生常任委員会

調査日
8/4

＊「放課後子ども教室、放課後児童クラブ等の現状と課題」を調査

放課後対策事業が1つも開設されていない小学校区が3つあることや、児童館・児童センターや放課後児童クラブでは合併前の取組

をそのまま継続しているため、同一事業であつても運営形態や開設日数・時間・場所、利用料などが区によつてさまざまであること、また放課後子ども教室においても、地域により開設日数等に差があることなど、市内で利用できる放課後対策の違いがありました。多くの課題の解決や、今後の事業の方向性の検討等を行うためには、教育委員会と健康福祉部の部門を超えて、専門的に活動する組織あるいは部署が必要ではないかと感じました。



こぼと幼稚園児童クラブ（水沢区）

産業経済常任委員会

調査日
7/15

＊「市内中小企業・事業所等の現状と問題点」について調査

前沢商工会及び水沢商工会議所に出向き調査を行いました。前沢商工会では、震災から約4ヶ月経過し被災によって廃業を決定した業者が3件あり、今後も増える可能性があるということで、中小企業に対する影響が大きかった

こと感じました。また水沢商工会議所では、震災の影響により、放射能拡散による風評被害を懸念する声があつたほか、中断となっている公共工事の再開を望む声が聞かれました。2箇所の調査により、従来の景気低迷により苦しい業績であつた中小企業業界が、未曾有の地震と放射能拡散問題により、一層苦境に立たされているということで、市においては、きめ細やかな支援が必要と感じたところです。

建設環境常任委員会

調査日
8/18

＊市道の管理状況について（江刺区）調査

阿原山牧場に通じる市道、梁川地区の市道未舗装、市道玉里広瀬線について調査を実施しました。阿原山牧場に通じる市道は委託により年1回の除草作業を実施し適正に管理されています。また、江刺区の市道舗装率は奥州市全体の比で高く、梁川地区の舗装率も市全体の割合を上回っていました。



市道 玉里広瀬線復旧工事

地震による被害を受けた市道玉里広瀬線は早期に迂回路を設置するなどし、7月に入札を行い工事施工中でありました。

◆放射能に関する講演会

放射線と健康への影響について

奥州市議会東日本大震災調査特別委員会（及川梅男委員長）などが主催する「放射能に関する講演会」が9月16日、奥州市役所講堂で行われました。岩手県立二戸病院副院長の及川浩先生を講師に迎え、放射能とは何か、身体にはどのような影響があるのかなど医学的な視点から解説していただきました。

会場に集まった教育関係者、農業関係者及び市民120人は熱心に聞き入っていました。

